

3月 1日 ~ 15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/03/01 (火)	東京は方向性なくレンジ内で一進一退。ただ経済指標の悪化した豪ドルがやや弱い。 欧米は小幅に円高。東京で日経平均が連騰したことに加え円金利上昇が円買いをサポート。	・1月失業率4.5% ・2月独失業率11.7%、失業者数16.1万人 ・カナダ中銀が政策金利を据え置き ・1月の米建設支出0.7%、2月の米製造業景気指数55.3	・福井日銀総裁「今後とも国債の直接引き受け行なう考えない」 ・FF連銀総裁「ドルの調整は貿易赤字抑制に役立つが時間掛かる」 ・LM連銀総裁「FRBはドル安のインフレ波及を阻止することが可能」	104.61 104.15 104.77 104.37	138.36 137.46 138.37 137.64	寄付 安値 高値 終値
05/03/02 (水)	東京はクロスで円安。ただ夜半にグ議長長の講演を控えていることもあり積極的な売買は見送られ気味。 欧米は一時ドル高に振れるも行って来い。期待感から買いが先行したが講演終了後は失望売り進む。	・豪州が政策金利を25BP引き上げ ・第4四半期豪GDPは前期比0.1% ・一部報道「ECBが05年の経済成長見通しを1.9%から1.6%に引き下げ」	・小泉首相「景気はかなり堅調に推移」 ・FRB議長「財政赤字が目立って縮小する可能性は小さい」	104.37 104.29 105.14 104.72	137.64 137.31 137.94 137.66	寄付 安値 高値 終値
05/03/03 (木)	東京は日経平均が6連騰となるなど支援材料があったにもかかわらず円が弱含み。 欧米で円は小幅続落。4ヶ月ぶりに55ドル台に乗せた原油高などが嫌気され、円が売り込まれた。	・第4四半期スイスGDP 0.1% ・堤西武グループ会長逮捕される ・ECBが政策金利の据え置き発表 ・2月の米非製造業景気指数59.8 ・OPEC事務局長代理「今後2年間で原油は80ドルまで上昇の可能性」	・福井日銀総裁「経済がもう少し前進するまで我慢強く緩和続ける」 ・細川財務次官「急激な長期金利上昇は望ましくない」 ・トリシェECB総裁「政策金利は歴史的に見て低水準」	104.72 104.69 105.37 105.27	137.66 137.57 138.14 138.00	寄付 安値 高値 終値
05/03/04 (金)	東京は小動き。ただ米雇用統計が良好になるとの噂から若干ドルの買いも。 欧米は一転ドル安。米雇用統計は良好な数字だったが期待値が高かったため、失望売りに押された。	・ビンラティン拘束の噂 ・2月の米失業率5.4%、同非農業者雇用数26.2万人、同ミシガン消費者信頼感指数94.1、1月の米製造業受注0.2%	・岩田日銀副総裁「様々な議論あるが現在の量的緩和と政策維持が最適な対応」	105.27 104.31 105.57 104.72	138.00 137.93 138.69 138.66	寄付 安値 高値 終値
05/03/07 (月)	東京はドルがじり高。途中、中国人民銀行総裁発言などで一時緩むもドル買いの流れは変わらず。 欧米でドルは小幅続伸。材料的にはBIS四半期報告などにネガティブなものがあつたなかの逆行高。	・2月末の外貨準備高は前月比微減の8405.64億ドル ・BIS四半期報告「中銀含むアジア各国銀行は昨年第四半期にドル建て預金比率を引き下げ他通貨に移行した」	・中国人民銀行総裁「外貨準備の分散化を重視」 ・福井日銀総裁「準備通貨を分散させる意向はない」 ・トリシェECB総裁「原油高から派生するリスクは後退」	104.72 104.51 105.36 105.16	138.66 138.33 138.97 138.95	寄付 安値 高値 終値
05/03/08 (火)	東京は小幅なレンジで揉み合い。ただ終盤に掛け、ルノーの発表からクロスでの円売り目立つ。 欧米は商品高を受けてコモディティ通貨が堅調裡。なかでも豪ドルとNZドルが強い。ユーロや円も連れ高気味。	・仏ルノーが保有する日産ディーゼル株を全額売却と発表 ・CRB商品指数が24年ぶり高値へ	・渡辺財務官「円が依然として過大評価されていると懸念」 ・バーナンキFRB理事「金融緩和は慎重なペースで解除へ」 ・SL連銀総裁「利上げで慎重なペースとの表現、いつかは辞める必要」	105.16 104.33 105.17 104.66	138.95 138.72 139.77 139.66	寄付 安値 高値 終値
05/03/09 (水)	東京で三種通貨は小動き。ただ商品高の流れからコモディティ通貨は引き続き堅調に推移した。 欧米は利食いと見せきコモディティ通貨売りドル買いでスタートするも商品高止まらず、一巡後は急反発。	・1月の景気先行指数55.0%、同一致指数88.9% ・神原元財務官がリマンBのアドバイザー・メンバーを辞任 ・双日HDがコモディティ取引で160億円の損失発生	・谷垣財務相「過度の通貨変動には適切に対応」 ・トリシェECB総裁「長期インフレ見通しはユーロ導入以来安定している」	104.66 103.64 104.74 103.92	139.66 138.62 139.85 139.17	寄付 安値 高値 終値
05/03/10 (木)	東京は日本の外準を巡り思惑交錯し右往左往。結果としてはユーロが小じり上がり。 欧米も余波残り、レンジ内ながら荒れ模様。しかし終盤は原油価格が反落したことを好感したドル買いも。	・2月の機械受注 2.2%	・小泉首相「(外貨準備の)投資先を分散することは必要」 ・谷垣財務相「首相発言は一般論」 ・細川財務次官「外貨準備の通貨構成、現時点で変更の考えはない」	103.92 103.69 104.32 104.11	139.17 139.09 139.96 139.71	寄付 安値 高値 終値
05/03/11 (金)	東京は引き続き外準に関する話題から上下に振れ易い展開。ただ最終的には行って来い。 欧米は注目された米貿易収支で赤字額が拡大したことを嫌気したドル売りが先行するも下値は限定的。	・英FT紙「英独が50年債発行を検討」 ・1月の米貿易赤字 583億ドルで史上2番目の規模、対日赤字は 62億ドル	・FRB議長「海外投資家はある時点でドル資産を削減する」 ・インド準備銀行総裁「外準の分散化は世界の中銀にとり継続的な論議」 ・テラー財務次官「アジアの中銀がドル資産を圧縮している兆しはない」	104.11 103.70 104.28 103.99	139.71 139.45 140.04 139.89	寄付 安値 高値 終値
05/03/14 (月)	東京は早朝発表されたGDPが改善したにもかかわらず円独歩安。中国首相の発言も影響は乏しかった。 欧米は米長期金利の上昇もありドル買い優勢。とくにユーロでドルは堅調に推移した。	・第4四半期GDP確報値0.1%と改定値のマイナスから改善、1月の経常赤字7749億円 ・中国全人代で台湾独立を牽制した「反国家分裂法」を採択	・温中国首相「中国の為替制度変更のタイミングは驚きとなる可能性」 ・トリシェECB総裁「現在の政策金利の水準は適切だ」 ・SF連銀総裁「一段の米金利上昇は適切」	103.99 103.67 105.17 104.81	139.89 139.61 140.69 140.13	寄付 安値 高値 終値
05/03/15 (火)	東京はドル高値圏で一進一退。円に関しては北朝鮮絡みの報道が足枷に。 欧米は円強含み。発表された小売売上など2つの米経済指標が悪く、ドル失望売りも。	・米国防総省で炭そ菌検出、職員が非難 ・3月の独ZEW景況感調査36.3 ・2月の米小売売上高0.5%、3月NY連銀製造業景気指数19.61、1月対米証券投資915億ドル	・一部報道「北朝鮮が核兵器増強の可能性」 ・FRB議長「赤字が改善しなければ米経済の停滞やさらに悪い状況を招く可能性」	104.81 104.14 105.00 104.54	140.13 138.91 140.29 139.08	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで